

科目番号	25-302-051	学期	A セメスター	単位数	2
法学部との合併	有	法科大学院との合併		受入学生	修博
他コースとの合併		他研究科との合併			
担当教員	飯田 秀総、宮下 央				
題目	金融商品取引法				
授業の目標・概要等	金融商品取引法に関する理論と実務を体系的に理解し、資本市場の在り方を考察することが、本授業の目標である。実務家をゲストスピーカーとして招いて実務についての理解を深める回も予定している。				
授業計画	下記の予定であるが、若干の変更があり得る。 第1回 開講の辞・本講義の概要ほか説明・証券会社の投資銀行業務について（引受け・M&A） 第2回 総論（金商法の目的、体系、規制の概要、有価証券概念など） 第3回 金融商品取引業の登録制度、開業規制、業務規制、投資者保護基金など 第4回 行為規制：適合性の原則、説明義務など顧客保護に関する諸ルール 第5回 インサイダー取引規制 第6回 相場操縦、偽計、一般的詐欺禁止規定などの不公正取引規制 第7回 金融商品取引所とコーポレートガバナンス・コード 第8回 開示①（発行開示） 第9回 開示②（継続開示） 第10回 委任状勧誘、大量保有報告制度、公開買付け① 第11回 公開買付け② 第12回 金融商品取引法のエンフォースメント 第13回 金融商品取引法の将来				
授業の方法	講義による。				
成績評価の方法	筆記試験による。				
教材・主要文献等	飯田秀総『金融商品取引法』（新世社、2023）				
履修上の注意	特になし。				
使用言語	日本語				